

天然石多彩模様薄塗材

ダイヤスキン

F☆☆☆☆



株式会社 **ダイフレックス**

多彩な色調・54色



↑No.520



↑No.521



↑No.522



↑No.523



↑No.524



↑No.525



↑No.526



↑No.527



★ ↑No.528



↑No.581



↑No.582



↑No.583



↑No.532



↑No.533



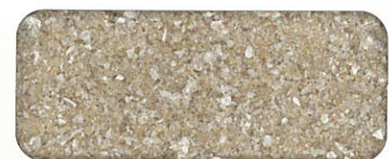
↑No.534



↑No.535



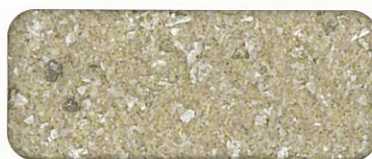
↑No.536



★ ↑No.537



↑No.538



↑No.539



★ ↑No.540



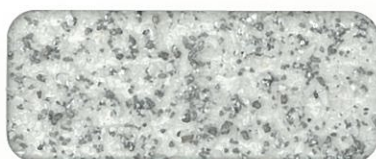
↑No.541



↑No.542



↑No.543



↑No.544



↑No.545



★ ↑No.546

ダイヤモンド Color Sample



↑No.550



↑No.551



★ ↑No.552



↑No.566



↑No.567



★ ↑No.568



↑No.569



↑No.570



↑No.571



↑No.584



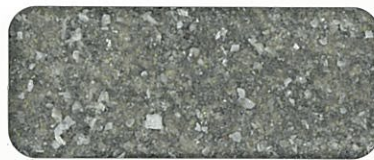
↑No.585



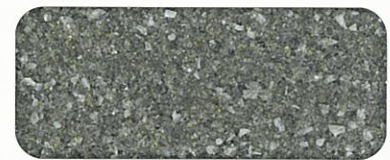
★ ↑No.586



↑No.572



↑No.573



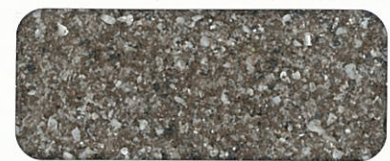
★ ↑No.574



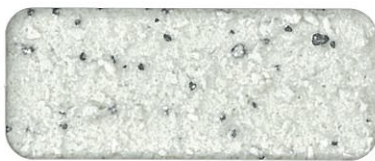
↑No.531



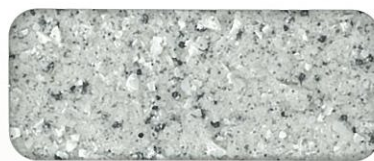
↑No.557



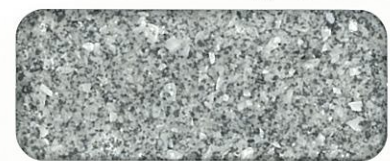
★ ↑No.558



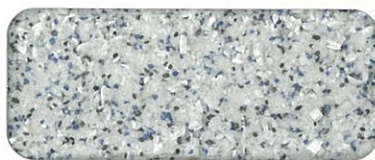
↑No.587



↑No.562



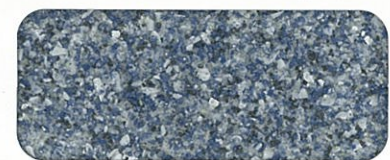
↑No.563



↑No.553



↑No.554



★ ↑No.555



★ レンガスキン ↑No.565



↑No.590



★ ブラックスキン ↑No.564

●★は濃色扱いになります。

●有色骨材による砂壁状仕上げのため、見本帳と実際の仕上り色とは、多少異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

■標準施工仕様

●コンクリートモルタル面

工程	材 料	調合割合	所 要 量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
①	下地調整		下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エフロは完全に除去し、含水率10%以下、(pH10以下)に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどは、ダイヤフィラー、ダイヤセメントフィラー、またはセメンシヤス#2000等で平滑に補修して下さい。下地に吸込み差がある場合は必要に応じて、ダイヤワイドシーラーで下地処理を行って下さい。					
②	吹付1回目 (下吹き)	ダイヤスキン	20kg	2.5~3.0kg/m ²	2	2時間 以上	リシガン 口径5~6mm 圧力 4~5kg/cm ²	
③	吹付2回目 (仕上吹き)	清 水	0~1.0%	7~8m ² /缶				

※下地がフレッシュモルタルポリマーセメント系下地調整材施工直後の場合、特に冬期はアクが出やすいため、必ずダイヤワイドシーラーを1回塗布してから施工して下さい。
※溶剤系シーラーを御使用の際はご相談下さい。

●軽量気泡コンクリート面 (ALCパネル面)

工程	材 料	調合割合	所 要 量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
①	下地調整	ダイヤフィラー(主材) (硬化液)	20kg 10kg	0.67kg/m ² 45m ² /セット	1	—	24時間 以上	刷 毛
②	吹付1回目 (下吹き)	ダイヤスキン	20kg	2.5~3.0kg/m ²	2	2時間 以上	リシガン 口径5~6mm 圧力 4~5kg/cm ²	
③	吹付2回目 (仕上吹き)	清 水	0~1.0%	7~8m ² /缶				

※ダイヤフィラーの代わりにダイヤALCフィラーも使用できます。
※下地がダイヤフィラー施工直後の場合、特に冬期はアクが出やすいため、必ずワイドシーラーを1回塗布してから施工して下さい。
※溶剤系シーラーを御使用の際はご相談下さい。

■包装単位

下地調整材 ダイヤフィラー……………主 材 20kg袋
硬化液 10kg缶
下地処理材 ダイヤワイドシーラー……………15kg缶
主 材 ダイヤスキン……………20kg缶

■適応下地

コンクリート(打放し面、合板型枠面、メタルフォーム面、PCパネル面)、モルタル(刷毛引き面、コテ押え面)、ALCパネル*、コンクリートブロック*、石膏プラスター、ドロマイトプラスター、石膏ボード、木毛セメント板*、木片セメント*、スレート板、けい酸カルシウム板**、パルプセメント板、合板**

(*印=ダイヤフィラー処理 ※印=ダイヤワイドシーラー処理を要す)

■施工・管理上の注意

- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- 材料が付着乾燥しますと取れませんが、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- コンプレッサーは必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 金属下地及び釘跡などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中で塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上り不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ないおそれがあります。
- 施工後24時間以内の降雨、結露等の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 冬期・低温時の施工で水系下塗材(シーラー)を用いた場合、乾燥が遅くなるため仕上がりムラを生じる事があります。状況に応じて溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。
- 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。

- 工程間隔時間は充分取って下さい。
- 特に溶剤系塗料は、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染、ひび割れ、剥離などの不具合が発生するおそれがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を充分確認のうえ施工して下さい。
- 改装工事の場合は、別途ご相談下さい。
- 本施工に入る前に試験吹きを行い、吹き付けのタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上りがムラにならないよう確認して下さい。
- 下吹きは、下地が均一に隠れるように吹付ます。この際、材料を吹き過ぎて流れないようにして下さい。
- 仕上げ吹きは、山立ちをそろえながらムラなく廻し吹きし、やや厚めに吹き付けて下さい。
- 仕上げ吹きの薄め過ぎ、圧力の上げ過ぎ等は粗目の骨材がのらない原因となります。
- 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点について仕様書等をご確認下さい。

■安全衛生上の注意

- 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 作業中・作業後は充分換気を行ってください。
- 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
- 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の判断を受けて下さい。
- 中身を使い切った後から廃棄して下さい。
- 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

安全にご使用いただくためのお願い

この見本帳に記載の商品を取り扱う際には、各商品の容器に表示されている注意事項をよく守って下さい。施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。

この見本帳に記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。この見本帳の使用有効期限は、2022年1月ですのでそれ以降のご使用は避けて下さい。

 **株式会社 ダイフレックス**
DYFLEX

取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。